

## JICA 国際協力高校生エッセイコンテスト 2012 表彰式

2月20日（水）に、標記コンテストの表彰式を校長室にて行いました。このコンテストは、次世代を担う全国の中・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本が、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的としています。

本校からも、国際社会の中での日本の役割や責任について深く考え、自分がどのように関われるかについて関心を持つ生徒がこのコンテストに応募、結果1年生の池田さんと千葉君が見事入賞を果たしました。

同時に、学校賞もいただくことになり、表彰式にはJICA北海道の丹羽所長様ご来校され、直に一人一人に賞状並びに副賞が手渡されました。



このコンテストは今年で51回を数え、応募総数も高校生の部 28,736名と大変多くの高校生が出品しているとのことでした。

内、北海道の受賞者は18名、本校からは1年生の池田さんがタイトル「壁」で佳作、同じく1年生の千葉君がタイトル「チーム JAPAN」で青年海外

協力隊北海道OB会会長賞に輝きました。

両名とも、大きな賞の受賞に心から喜んでいる様子が伺われました。

表彰式後、1年生の授業の一部を活用し、丹羽所長様から本校生徒へのメッセージをいただきました。



○生活や文化が異なっても、「同じ人間として世界は一つ」であること

○日本がこれまで世界で築いてきた「信頼」は大きく、世界に一步踏み出すことのハードルは決して高くないこと

○ネパールで山沿いの危険な路をアスファルトにするプロジェクトがあること

など、日本と世界との関わりについて熱く語られました。